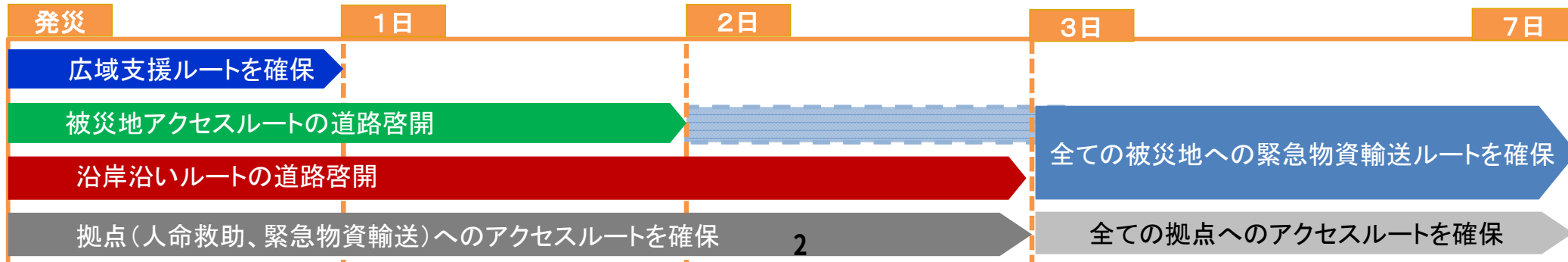
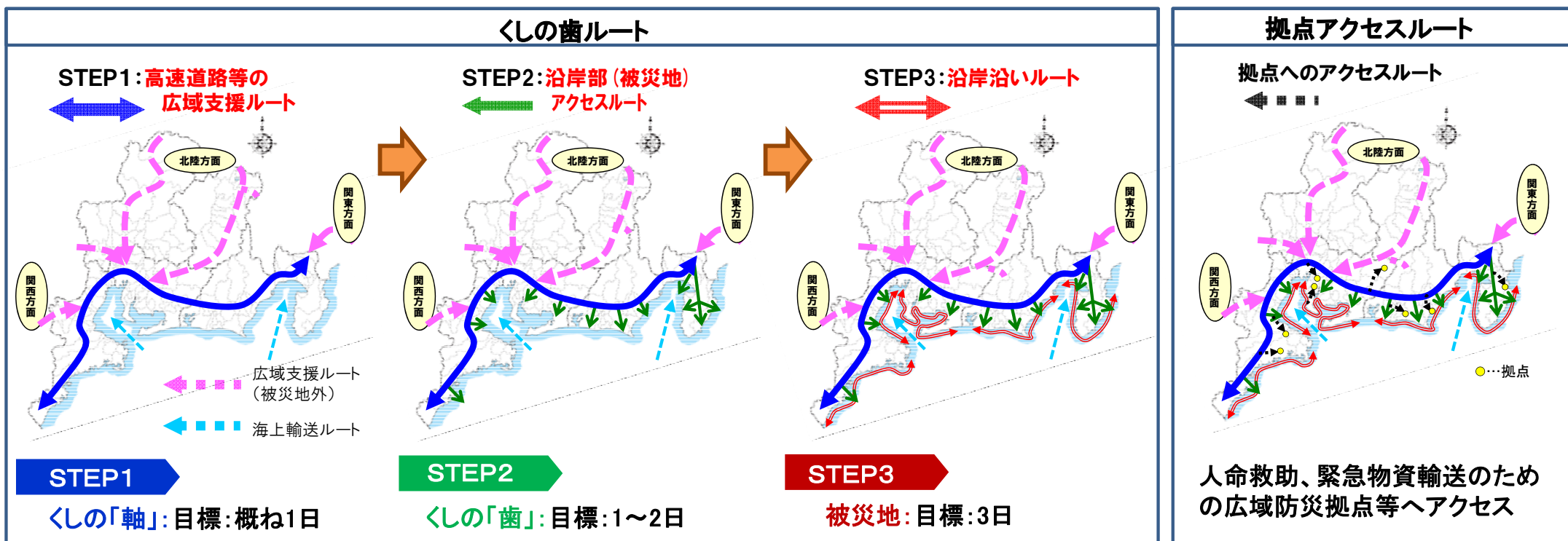


中部地方幹線道路協議会 道路管理防災・震災対策分科会からの報告

くしの歯作戦の基本的考え方

- 津波等により、甚大な被害を受けた地域での救援・救護活動を支援するための「道路啓開」を最優先に行う。
- 全ての被災地への緊急物資輸送ルートを確認する。(7日以内)

人命救助のための救援・救護ルート確保に向けたステップ



- ① 道路啓開目標に向けたSTEP1、2、3でルートを確認する「くしの歯作戦」
- ② 濃尾平野の大規模な浸水被害に対する「濃尾平野たてよこ進入・排水作戦」
- ③ 沿岸部に甚大な被害を受ける「熊野灘における道路啓開オペレーション」
- ④ 岐阜県・長野県の被害に対する「内陸部における道路啓開オペレーション」

②濃尾平野たてよこ
進入・排水作戦

④内陸部(岐阜県・長野県)における
道路啓開オペレーション

①くしの歯作戦
くしの歯ルートに対する具体計画を策定

内陸部からの
進入ルート

海からの
進入ルート

③熊野灘における道路啓開オペレーション

くしの歯ルート(65方向)

○ 集結地点
➡ 進入ルート

中部版「くしの歯作戦」の深化

くしの歯ルート及び拠点アクセスルートについて、具体計画の策定

■3日以内にアクセスすべき拠点の選定

- 人命救助のためにアクセスすべき拠点と、4日目以降の物資輸送のために3日以内にアクセスすべき拠点を抽出

①「中部圏広域防災ネットワーク整備計画(第2次案)」におけるカテゴリ

I: 基幹的広域防災拠点

- I-A: 基幹的広域防災拠点(司令塔機能)
⇒2施設: 名古屋合同庁舎2号館、静岡県庁
I-B: 基幹的広域防災拠点(高次支援機能)
⇒3施設: 名古屋飛行場、名古屋港、富士山静岡空港

II: 広域防災拠点(各県の地域防災計画に関する拠点等)

- II-A: 広域防災拠点(県境を超える圏域で活動する拠点)
⇒102施設: 御前崎港、大高緑地公園、四日市港等
II-B: 広域防災拠点 ⇒57施設: 災害拠点病院等

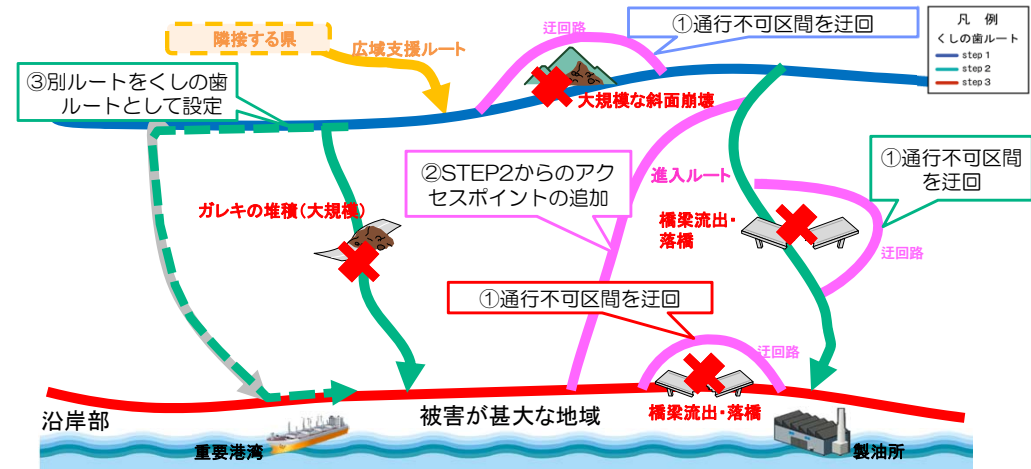
- III: 防災拠点(市町村の物資、活動拠点等)
⇒473施設: 公園、公民館などの避難場所

- ②道路啓開の指揮所
③発災直後のエネルギー確保
④県・市町村の防災計画等と整合

※「中部圏広域防災ネットワーク整備計画(第2次案)」平成26年3月31日 中部圏広域防災拠点ワーキンググループより引用

■リスク評価による実効性向上

- ①3日以内の道路啓開が困難となる被害(高リスク)箇所の抽出
②沿岸部(STEP3)の津波被害の片押し作業に対する啓開日数の検証
③迂回路がない箇所に対して、沿岸部に向かう別のルートにくしの歯ルートに見直し



■具体計画の策定

- 発災時に円滑な道路啓開作業を実現する具体計画を策定
※ 具体計画とは、被害想定、必要資機材量、拠点事務所、参集場所、資材置場、担当者割付を計画

【拠点事務所】

道路啓開の広域的な指揮・調整を行う事務所である。
拠点事務所は被災箇所を含む担当区間の災害協定業者に、中部版「くしの歯作戦」を指示する。

【参集場所】

道路啓開作業を実行する災害協定業者等関係機関が参集する場所である。

【資材置場】

道路啓開作業に必要な資材(土のう袋など)を事前に備蓄しておく場所である。

くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

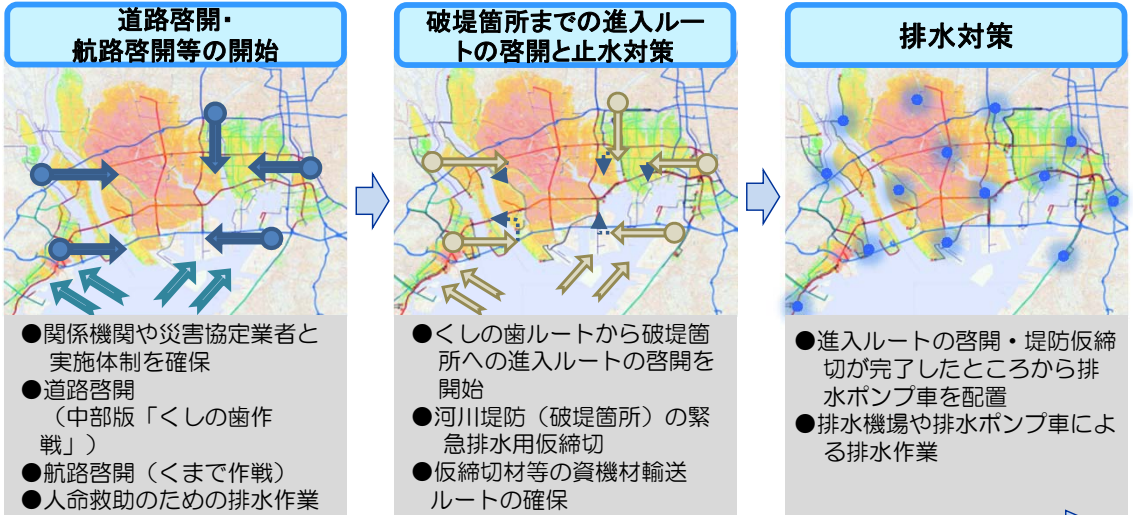
中部地方幹線道路協議会
道路管理防災・震災対策検討分科会



(注)被害想定、必要資機材量は、被害想定される条件のもとに算定したものであり、実際の配時には異なることがある。

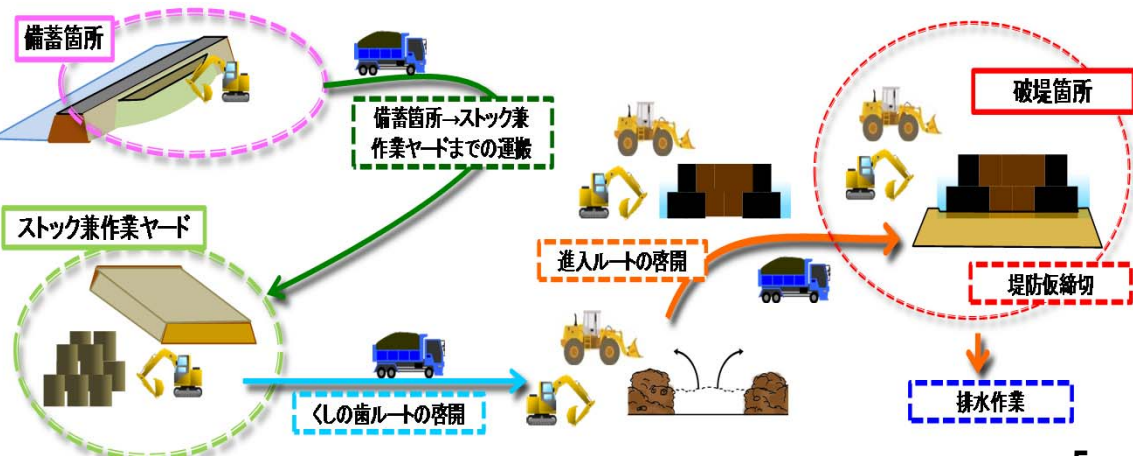
濃尾平野たてよこ進入・排水作戦

- 「道路啓開」「航路啓開」「止水対策」「排水対策」を連携して実施
- 排水作業完了後も順次、緊急物資輸送ルートを確認するための道路啓開を実施



順次 緊急物資輸送ルートを確認するための道路啓開を実施

- 総合啓開の作業や資機材の流れ、進入ルートの設定、必要な資機材量等を整理し、作業の具体化を図った。（備蓄土砂から仮締切までの土砂の流れなど）

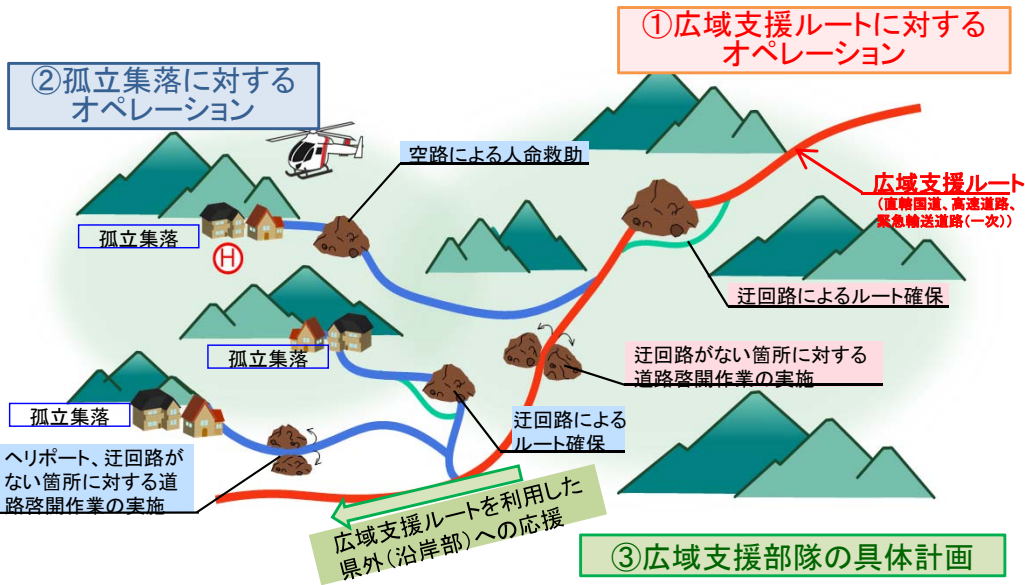


熊野灘における道路啓開オペレーション

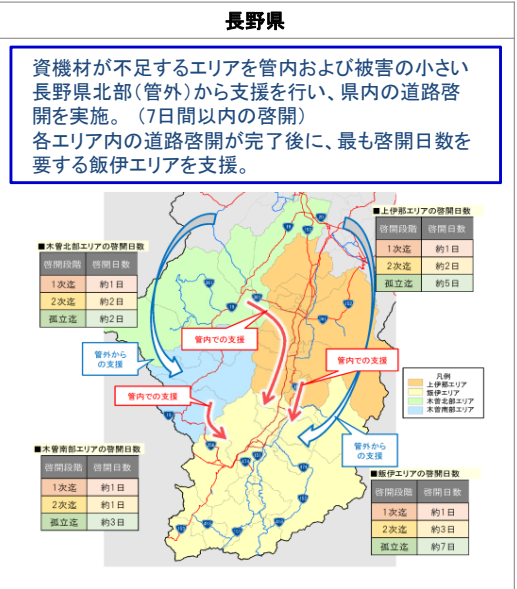
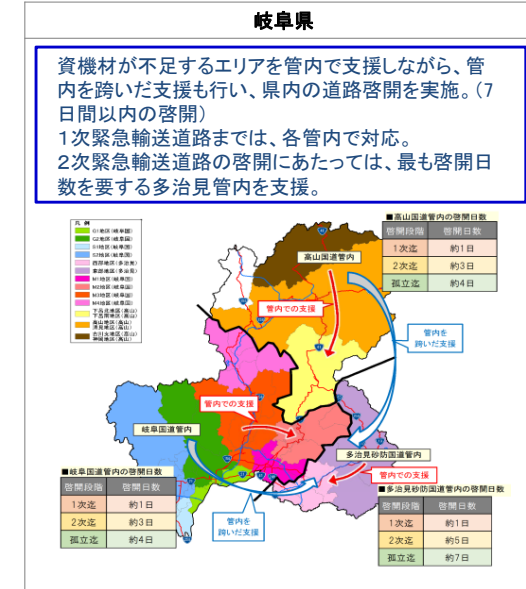
- 三重県内の災害協定業者に限りがあるため、隣接県からの応援による道路啓開、空路、海からの応援による啓開について更なる検討を実施
- また、早期支援が困難な場合における道路啓開の検討を実施



■内陸部(岐阜県・長野県)における道路啓開オペレーション



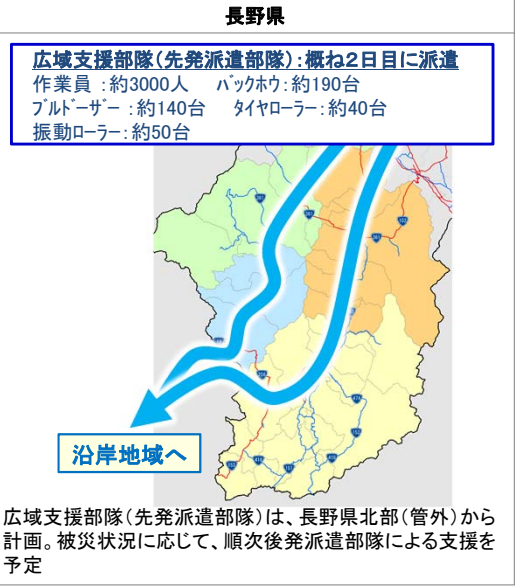
②孤立集落に対するオペレーション



①広域支援ルートに対するオペレーション



③広域支援部隊の具体計画



注)現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。